

2012 年度後期 学科教育改善委員会 (FD 研修会) 議事録

1. **開催日時** : 平成 24 年 3 月 29 日 (金) 10:05～
2. **開催場所** : S2 棟 3F 会議室
3. **出席者** : 呉智深, 小柳武和, 沼尾達弥, 金利昭, 小峯秀雄, 横木裕宗, 井上涼介, 山田稔, 桑原祐史, 信岡尚道, 村上哲, 車谷麻緒, 神下栄 (順不同, 敬称略)

午前

1) 開会の挨拶 (呉)**2) 後期学科各科目の点検と評価****1. 都市システム主題別ゼミナール A (井上)**

物理に対して拒否反応を示す学生が多かった。

2. 都市システム主題別ゼミナール B (小峯)

ネット等で簡単に調べるだけでなく, 数式や物理の説明などもさせた。

3. 都市システム主題別ゼミナール C (信岡)

学生は設計という概念を理解していないと感じた。

4. 都市システム主題別ゼミナール D (小柳)

討論会としているが, 討論になることはなく, 発表会のようになっていた。

5. 物理学 (原田)

レポートを提出しない学生が目立つ。成績は例年通りであった。

6. 材料力学 (車谷)

出席状況・成績・宿題提出に関して, すべて昨年よりも悪化した。

7. 都市地域計画 (金)

欠席の多い学生が目立つ。5 回欠席しているのに受講を続ける学生がおり, 不合格者も多かった。

8. 線形代数 II (村上)

不合格が 1 名いた。分からないところがあれば質問するように指導している。

9. 土の力学 II (村上)

建設工学演習 II で追いついていない問題の正答率が悪かった。問題を解く技術も教える必要がある。

10. 測量学実習 (桑原)

レポートを提出しない学生が多く, 成績が全体的に下にシフトした。

11. 建設工学演習 II (横木)

構造力学では授業当日に提出する課題を課したところ, 授業態度・出席状況が向上した。

12. 水理学 II (横木)

昨年度よりも少し成績が下がった。A+の成績がつくように試験問題を工夫している。

13. 数学解析 I (桑原)

目標は達成できた。最近の都市の学生は努力している。毎年, 欠試者が非常に多い。

14. コンクリート構造学 (原田)

講義内容全体の流れを理解していない学生が目立ち, 不合格者も少なくなかった。

15. 都市設備及び住居環境 (沼尾)

問題のレベルを下げずに、設問の方法を変えたところ成績が上がった。60点未満を不合格としたい。

16. 交通システム (山田)

セグウェイや自動四輪車を実際に乗ってもらう講義を1回設けた。

17. 数理統計Ⅱ (桑原)

黒板に書かせて演習問題を解かせるようにした。

18. 社会システム分析 (金)

レポート作成に非常に積極的な学生が数名いたが、試験についてはあまり積極的ではなかった。

19. 景観工学 (小柳)

レポートを点数化してほしいという要望があった。部分的に教育目標を達成できない学生が数名いた。

20. 構造力学Ⅱ (車谷)

3回目の受講者の多くはまた不合格であった。構造力学の考え方を理解している学生は100点であった。

21. 都市システム工学製図Ⅱ (小柳)

非常勤講師との分担であった。製図室が整備により作業効率が良くなっている。

22. 輸送施設工学 (山田)

ここ2,3年、学生のレポートの質が低下している。

23. 構造工学 (呉)

今年は受講生が多かった。来年度は補講の数を減らすようにしたい。

24. 地下構造学 (小峯)

知識が断片化している。過去問を参考にしすぎている。取止者を減らす方法を考えている。

25. 都市システム工学特別講義 (村上)

自己点検表、授業記録とも完成していない。

26. 都市システム設計演習Ⅱ (井上)

演習課題の作り方を工夫すると満足度が上がるようである。TAの役割が重要である。

27. 建設施工 (呉)

ビデオを見せながら講義している。

28. 都市システム工学実験Ⅱ (村上)

過年度生のなかに2名の不合格がいた。

29. 建築学概論 (寺内代理 沼尾) (時間割上は後期科目であるが、本年度は寺内先生の移動に伴い前期に実施され、代理の沼尾先生から授業点検改善表の概要が紹介された。)

30. 河川・水環境工学 (横木)

昨年度より受講生が増えた。熱心に講義を聴いていた学生が多かった。

31. 都市システム工学学外実習 (村上)

エントリー型の企業が増加している。将来就職してもらえる学生を募集する企業が増えている。

32. 卒業研究 (呉)

卒論発表会の際に議論したので簡単な報告のみであった。

メモ:

- ・ 順番を学年順にしたので、各学年の特徴を理解しやすかった。また、講義の対象学年を聞く質問が毎回出るが、今回は出なかったため、この順番でよいと考えられる。